

栄養状態が悪化した重症脳卒中・経腸栄養患者に対するロイシン強化 補助食品の栄養指標の早期改善効果

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2016年12月から2017年7月の間に脳卒中診療科に急性期脳卒中中で入院し経口摂取できずに経腸栄養チューブで栄養補給を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

分岐鎖アミノ酸(Branched chain amino acid: BCAA)の一つであるロイシンを強化した栄養補助食品が採血上の栄養指標を早期に改善できるかをすでに得られている診療録の情報から調査します。早期に改善できるなら、入院長期化を防ぎ、臨床転帰悪化を予防できる可能性があります。

期間は、施設院長承認後 ～ 2020年8月です。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、体重、病歴、採血結果 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

氏名：森 貴久

湘南鎌倉総合病院 脳卒中診療科 部長：

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370 番 1

電話番号 0467-46-1717

(2020年3月27日作成(第1版))